



▲4月15日、長浜市役所市長応接室にて

長浜にゆかりのある浅井三姉妹の末娘お江にスポットをあてた「江」姫たちの戦国」に決まりました。市では「浅井三姉妹キヤンペーンイベント実行委員会」を設立していただき準備を進めているところで、JRさんとも提携した観光誘客を期待しています。

また、観光だけでなく、私たちの日常生活でも鉄道に頼るところは大きく、通学通勤など毎日の生活そのものが鉄道に支えられているところがあります。隣市には新幹線が停車する米原

駅があり、東海道線があり、鉄道を中心とした観光づくりとともに、私たちの地域には社会基盤として欠かせないものであるという思いを持っています。駅舎もずいぶん便利になりましたので、みんなで鉄道を利用して、駅を愛して、盛り上げていきたいと思っています。

湊支社長：あたたかいお言葉をいただきありがとうございます。鉄道を取り巻く経済環境は、高速道路の割引制度もありまして、なかなか厳しい状況になっています。

ただ、鉄道は公共交通であり地元の皆さまの生活を支え、お手伝いをさせていただいているという思いがあります。特に交通弱者といわれるお年寄りや通学のお子さまたちに鉄道をご利用いただいているわけです。

また、環境面でも鉄道は大変貢献していると自負しており、こうした意味で「地球にやさしい鉄道」をしっかりとすすめるためにもがんばらなければならぬと思っています。

行政の皆さまにはこれまでも色々とご努力いただいています。が、駅からの二次アクセスを、さらに充実していただきますようお願いします。我々も、例えばバリアフリー化など、ご利用いただきやすい鉄道に向けて努力していかなければと思っています。

史や伝統がありますので、それを一つにするにはいろいろと課題があります。

しかし、私は「オープンで開かれた長浜市政にしましょう」、「公平で平等な格差のないまちづくりをしましょう」、「まちづくりはみんなで参加しましょう」と、大きな3本の柱を掲げて、市民の皆さんに呼びかけています。

長浜市民にとって鉄道は、地域の南北を結ぶ基幹ネットワークとして、一体感のある長浜のまちづくりの主要な役割を担っていただいていると思っています。通勤通学のほか、毎日の生活に欠かせない大事な公共の交通手段である鉄道を、みんなが利用していかうと、熱い気持ちでございいます。私たちの気持ちも汲んでいただきまして、御社も経営が厳しいことかと思いますが、私たち長浜市民の日常の交通手段として活躍いただきたいと思っています。

湊支社長：ありがとうございます。市民の皆さまに積極的にご利用いただくためには、地元の皆さまから「安心」、「信頼」を得なければなりません。まずは「安全な鉄道」を目指してまいります。その上でお年寄りやお子さまに安心してご利用いただける「人にやさしい鉄道」にして、市民の皆さまにぜひご利用

用いただければと思っています。これからも安全で信頼されるように努めていきます。

藤井市長：合併基本計画のまちづくり基本計画の中では、多様な交通体系を位置づけ、駅を利用したまちづくりを目指しています。我々の地域も駅はその地域のシンボルです。駅があるのとないのではまちづくりに差が出ます。シンボルである駅を中心としたまちづくりというのは一番合理的でわかりやすく、周辺整備も各駅ともに進めています。

みんなで利用して、便利な鉄道をということで、我々も市民のみなさんに積極的な呼びかけをしていきたいと思っています。ぜひJRさんにご協力や知恵をお貸していただきますようお願いいたします。今日はありがとうございます。



▲湖北路を走るSL北びわこ号

ます。いずれにしましても、鉄道を一定程度ご利用いただかなければ、維持できませんし、また効率的なシステムにしないと生き残れませんので、そういったことも努力をしながら、地元の皆さま方からもご協力をいただき、愛され、ご利用いただける鉄道にしていきたいと思っています。

また、JRとしましても大河ドラマによる集客力には期待しています。今年は龍馬伝でNHKとタイアップして地元のPRをしていますので、来年は浅井三姉妹のふるさと湖北の地へお客さまをお送りしたいと思っています。

○地域を結ぶ公共交通

藤井市長：ご存知のように長浜市は、1市6町合併で大所帯になりました。旧町それぞれに歴



▲平成18年10月竣工の5代目の長浜駅(東口から)

長浜市ではJR西日本と協力し、北陸本線の利用促進キャンペーンを展開しています。今回は、曳山まつりに合わせてJR京都支社の湊支社長を長浜市にお招きし、「観光都市新長浜」をご見学いただきました。また、鉄道が長浜市民にとって、いかに親しみ深く大切な公共交通であるかを再認識していただく絶好の機会となりました。

対談の中でも触れられていたように、鉄道やバスなど公共交通は、マイカーに押されて存続がたいへん厳しい状況にあります。しかし、高齢化社会や環境問題などに対応した「人にやさしいまち長浜市」を市民みんなが創りあげていくためにも、公共交通の存続は大切な課題です。皆さんもマイカーを置いて公共交通を利用する機会を増やしましょう。

